

地下水保全顕彰制度 最優秀グランプリ紹介

最優秀グランプリ：サントリー株式会社 九州熊本工場



サントリーグループは企業理念の中核である「人と自然と響きあう」のもとステークホルダーとの約束として「水と生きる」を掲げ、水に関するさまざまな活動に取り組んでいます。サントリー株式会社九州熊本工場は、2003年業界初のビール類に加え清涼飲料水を生産するハイブリッド工場として稼働して以降、設備投資による水排出ロス削減、人による日常管理を通じた水使用量適正化、水のリサイクル活用など多くの省水活動を展開し、地下水保全に努めています。直近では、井戸水位・流量の常時監視を続けていくとともに、井戸に濁度計を設置して品質に応じた制御を用い最適汲上量を実現するなど、常に新たな省水活動を推進しています。さらに、当工場の水保全活動をさらに発展すべく社内外と連携し国際的な認証である Alliance for Water Stewardship (AWS) (※1) を取得致しました。工場周辺流域における水収支の把握、科学的データに基づく水源涵養活動、工場での節水や水質管理の取り組み、流域内のステークホルダーとの連携や適切な情報公開を実施しています。



九州熊本工場の水源涵養エリアにあたる森を「天然水の森 阿蘇」と制定し 2003 年から森林整備活動を展開しています。さらに 2010 年からは、益城町津森地区の水田で湛水(たんすい)農地「冬水田んぼ」と呼ばれる地下水涵養活動を実施し、「天然水の森」と一体となった涵養活動を実施しています。工場で使用する地下水の 2 倍以上を涵養することを目指して活動を推進しています。さらに、「天然水の森 阿蘇」のフィールドを使用して、次世代環境教育「森と水の学校」も 2004 年から継続的に実施しています。「天然水の森」活動、次世代環境教育「水育」活動は、どちらも熊本の「天然水の森 阿蘇」で始まり、現在では「天然水の森」は全国で 21 カ所、約 12,000ha まで広がり、「水育」は累計参加者が 21 万人を突破しています。

今後も、サントリーグループは環境ビジョン 2050 で掲げる水のサステナビリティを追求し、水を大切に使いきれいにして自然に還すだけでなく、水を育む森を守るなど、自然界における水の健全な循環への貢献、地域の皆様と一体となった自然環境の保全・再生につながる活動に取り組んでいきます。

(※1 世界中の工場を対象とした持続可能な水利用に関する認証 <https://www.suntory.co.jp/news/article/13617.html>)